



# 生放送中職員「戦争NO」

ロシア政府系テレビ

ウクライナへの軍事侵攻を巡り、ロシアの政府系テレビ「第一チャンネル」で十四日、ニュース番組の放送中に職員の女性が突然スタシオに入って「戦争をやめて」と訴えた。政府統制下にあるロシアメディア界

14日、ロシアのテレビの生放送中、キャスターの背後で「戦争をやめて」などと書いた紙を掲げる女性「ウクライナのボドリアク大統領府長官顧問のツイッターより」

(共同)

では異例の抗議で、世界的に反響が広がっている。ロシアの捜査当局は「偽情報」を流布した疑いで女性を訴追する方針だ。訴え要旨◎面

女性は、第一チャンネルの編集担当者マリナ・オフシヤンニコワさん。ソ連時代から続く看板ニュース番組「プレーミヤ」で、アナウンサーの背後に現れ「戦争反対」「フロバガンダ(政治宣伝)を信じるな」「この番組は」あなた方をだまそうとしている」と書かれ

た紙を掲げた。番組は数秒後、無関係の病院の映像に切り替わった。

会員制交流サイト(SNS)

に十五日午前、オフシヤンニコワさんが事前収録した動画が公開。「この暴挙を止めるにはロシア人の力しかない。抗議デモに加わってほしい。恐れることはない」と訴えた。父がウクライナ人、母はロシア人だと明かし「ウクライナで現在起きていることは犯罪でロシアは侵略者だ」と説明。放送局社員としてこれまでフロバガンダの流布に加担し、野党弾圧を傍観してきた自身を恥じていると

語った。

オフシヤンニコワさんは治安部隊に拘束され、タス通信によると、四日に成立した情報統制法に基づき訴追される見通し。同法はロシア軍の活動について、偽情報を拡散した場合は最大で禁錮十五年を科すと定めておりプーチン大統領が命じたウクライナでの軍事作戦を「侵攻」「戦争」と表現することも禁じている。ウクライナのゼレンスキー大統領は十四日、「真実を伝えよう」と、(ロシア政府の)偽情報と戦うロシアの人たちに感謝する」と述べ、オフシヤンニコワさんに謝意を示した。